

夢洲2区の湿地とヨシ原

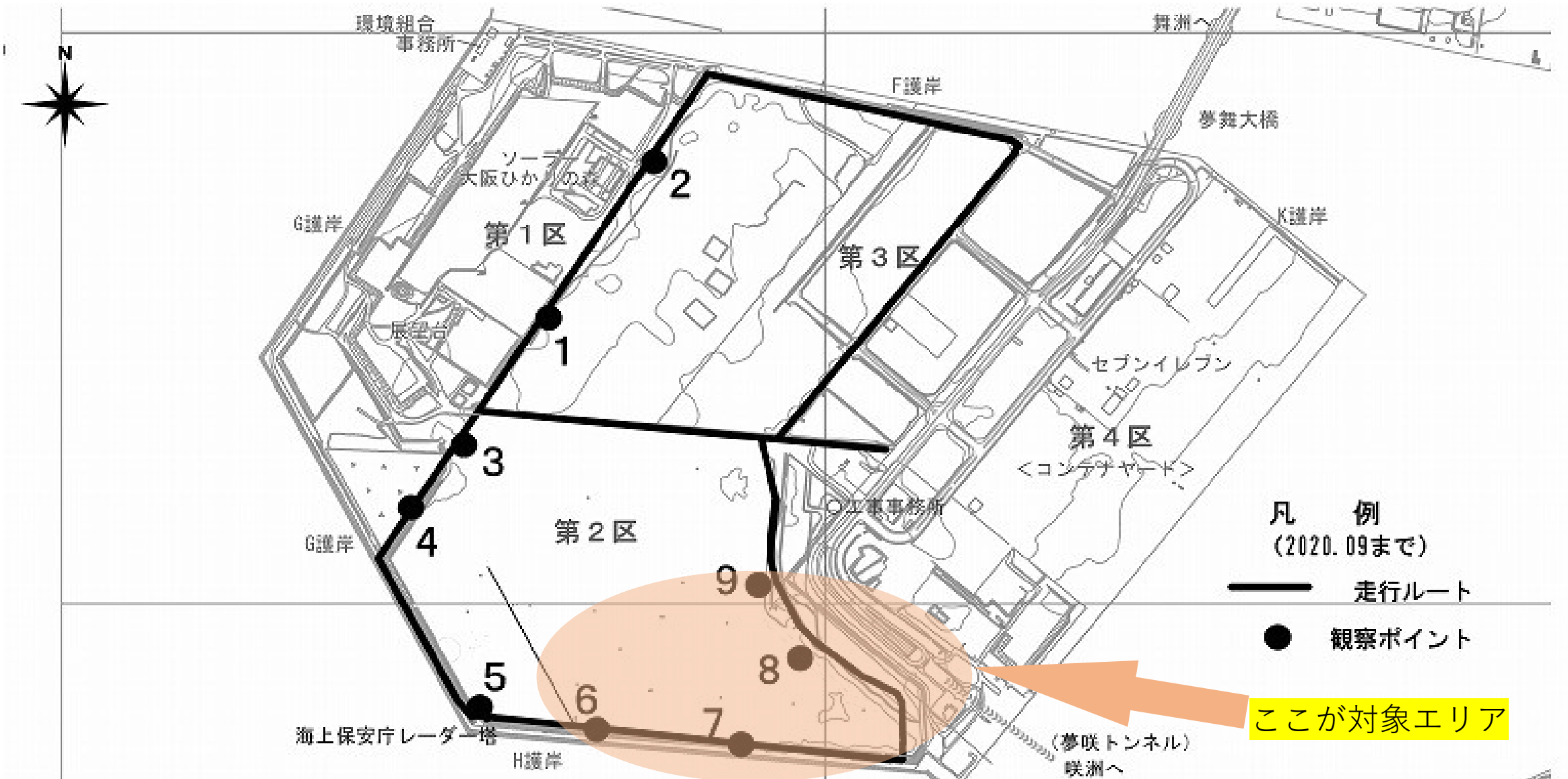
(今回の監査請求の中心となるエリア)

<変化を現場写真に見る>

2019年・2020年 → 現在

@大阪自然環境保全協会

私たちの調査ルートと調査ポイント



ポイント 6 より北を望む

ツクシガモ、本州最大の飛来地（池）



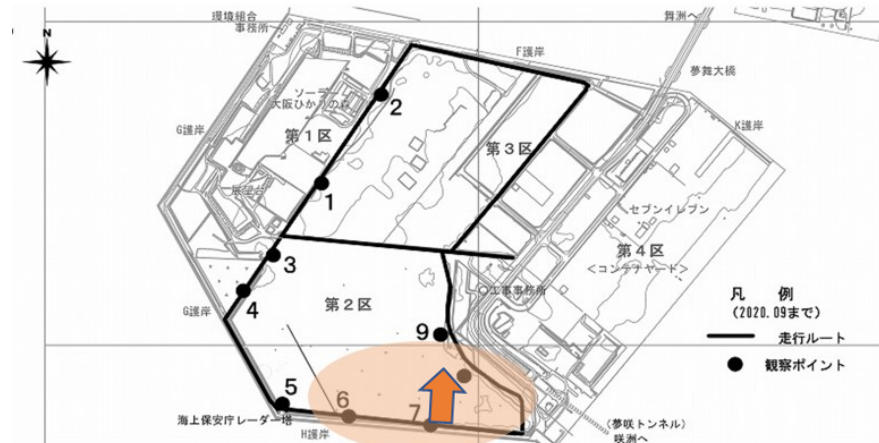
2020年11月29日



2022年4月現在
まだ水域として
残っています。

ポイント7より北を望む

ウラギクが手前に咲き、中州のほうで、セイタカシギやカルガモが繁殖していた場所。



2020年11月29日

舞洲ゴミ焼却場



2022年3月21日

舞洲ゴミ焼却場



ポイント7のあたりから北へ堤防が築かれ、東側の水を西側の池に排水中

ポイント8付近 (「カワツルモ」発見の池)



2021年5月30日

ヨシ原の中に隠れるようにして
小さな池があった。
カモがゆっくり休み、60年ぶり
の水草が発見された。



2022年3月21日

冬、枯れたヨシを刈り取り、
あっという間に土砂をいれ、
さらにセメントを流し込んでいた。



ポイント 9 より南西を眺める

2021年7月11日

3000羽を超えるコアジサシが休み、セイタカシギ複数つがいが繁殖。

現在は、全体、水がどんどん抜かれ、水深が浅くなっている。



夢洲の埋立ての進行状況



← 淡水池 ↑ 塩性湿地 ↓ ヨシ原